

第2章 剛体

2

剛体にはたらく力の合力



- (1) 大きさは等しいが、平行で逆向きの力 (F 、 $-F$) が剛体に加わっている場合に、その2つの力を一对のものだとする考え方。
- (2) 偶力 (F 、 $-F$) に関して力のモーメントを考えると、どの点周りのモーメントを考えても力の大きさ (F) と、2つの力の作用線間の距離 (l) の積になる。このときの Fl を何というか。
- (3) 各物体に重力が働くとき、物体に重力が働いていると考えるための代表的な点。
- (4) 剛体に関して、剛体の釣り合いの条件を満たしているが、少しでも傾くとどちらかに回転してしまう状態。